

ESG Report TOP		ESG情報編		SDGsと街づくり編	
トップコミットメント		ESGの考え方		活動報告の開示にあたって	
価値づくりのあゆみ					
環境 Environment	社会 Society	ガバナンス Governance	TOPICS		
		第三者保証	SDGsの関わり	ESG情報一覧表	

トップコミットメント

持続可能な社会の 実現をめざして

三井不動産株式会社
代表取締役社長

菰田正信



グループ長期経営方針「VISION 2025」に基づいてESG経営を加速

近年、気候変動への国際的枠組みである「パリ協定」や、国際的な課題解決に向けた「持続可能な開発目標（SDGs）」など、社会課題に関する国際的な動きが加速しており、私たち企業においても、事業を通じて社会の持続的な成長に貢献していくことの重要性が一層高まっています。

三井不動産グループは、「」マークに象徴される「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、「&EARTH」を掲げて、これまで環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）を意識した事業推進、つまりESG経営を推進してまいりました。

こうしたなか、昨年度策定したグループ長期経営方針「VISION 2025」において、当社グループが目指していくあり姿の第一に「街づくりを通して、持続可能な社会の構築を実現」していくことを位置付け、以下の6つを重点的に取り組む目標と定めました。これは、当社グループのESG経営をさらに加速させていこうという意思の表れです。

1. 街づくりを通じた超スマート社会の実現
2. 多様な人材が活躍できる社会の実現
3. 健やか・安全・安心な暮らしの実現
4. オープンイノベーションによる新産業の創造
5. 環境負荷の低減とエネルギーの創出
6. コンプライアンス・ガバナンスの継続的な向上

これらの目標達成に向けて取り組むことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。

また、2019年度からは社長以下経営層をメンバーとする「ESG推進委員会」やESG推進に関する専門組織「ESG推進室」を新たに設置し、ESG経営の加速に向けて組織体制をさらに強化しています。

さらに、当社グループの掲げる理念や目標と通底する国際的イニシアティブの「国連グローバル・コンパクト」に賛同・署名するとともに、その国内ネットワークである「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」にも加入しました。「人権、労働、環境、腐敗防止」の4分野からなる国連グローバル・コンパクト10原則を実践しながら、事業を通じて社会課題の解決に取り組んでまいりたいと思います。

街づくりを通して、持続可能な社会の構築を実現

当社グループは創立以来、三井グループの「進取の気性」の精神を受け継ぎ、各時代のパラダイム転換を捉えて新たな価値を創造しながら、街づくりを通じた社会課題の解決に取り組んでまいりました。

環境共生・新産業創造・健康長寿を目指す「柏の葉スマートシティ」や、地域社会・文化の活性化に加えて地域全体の防災力強化に取り組む「日本橋再生計画」など、当社グループの街づくりは持続可能な社会の構築の一翼を担っています。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ゴールドパートナー（不動産開発カテゴリー）として「スポーツの力」を活用した街づくりを推進し、人々の心身の健康維持・増進と、地域コミュニティの活性化に取り組んでいます。

こうした街づくりの一つひとつが、少子化・高齢化、環境問題、くらしの安全・安心、新産業創造など、社会が直面する幅広い課題の解決に寄与するものであり、「社会的価値の創出」ひいては当社グループの「企業価値の向上」へと繋がっていくものと考えております。

【環境（E）について】

エネルギー消費や温室効果ガス排出量が少ない街や施設をつくり、環境負荷の少ないサービスや施設運営を実践することで、低炭素社会の実現に貢献していくことは、街づくりを担うデベロッパーとしての社会的使命であると考えています。特に、気候変動リスクが当社グループの経営に大きな影響をもたらすと認識しており、事業を通じてリスク低減に努めることを重要な経営課題の一つとして位置づけています。

さらに、生物多様性や水環境の保全、環境汚染の防止および省資源・廃棄物削減といった環境に関する諸課題に対しても、オフィス・商業・住宅などあらゆる事業領域で積極的に対応しています。また、環境課題を事業機会として捉えることで、エネルギーの地産地消で省エネ・省CO₂を実現する「日本橋スマートエネルギープロジェクト」などの新規事業を創出しています。

引き続き、お客様や地域社会にとって快適な環境を創出していくとともに、気候変動をはじめとする環境保全の包括的な取り組みに注力してまいります。

【社会（S）について】

当社グループが、街づくりを通して人々にビジネスライフやくらしを提供していくうえでは、一人ひとりの人権を尊重することが何より大切です。国連が提唱する「ビジネスと人権に関する指導原則」や「労働における基本的原則および権利に関するILO（国際労働機関）宣言」で定められた基本的権利を支持・尊重することはもとより、人権に配慮した事業の推進を徹底してまいります。

また、当社グループ内においては、意識改革・インフラ整備・組織単位での業務改革の3つを柱とする「働き方改革」に取り組み、従業員が意欲的に働ける職場づくりに努めています。さらに、人種・国籍・宗教・性別・年齢などに関わらず多様な人材が活躍できる環境の整備に加えて、育児・介護と仕事の両立支援や在宅勤務制度の導入など、ライフステージの変化に応じた多様な働き方の支援策を推進しています。

昨年度、多岐にわたる領域で数多くのパートナーと事業に取り組む当社グループの社会的な責任の重さに鑑み、「三井不動産グループ サステナブル調達基準」を策定いたしました。当社グループと取引先の双方で基本方針を共有し、その遵守を徹底することで、サプライチェーン一体となってESGを推進してまいります。

【ガバナンス（G）について】

リスクマネジメント・コンプライアンス・ガバナンスなどについては、人・街・社会からの信用に基づき事業を営む当社グループにとって、事業の根幹をなす非常に重要なテーマであると認識しています。

特に、近年急速に拡大している海外事業においては、コンプライアンスの徹底とガバナンスの強化を喫緊の課題として捉えており、本社と海外現地法人のさらなる体制強化に加えて、事業リスクの適正なマネジメントやデューデリジェンスの徹底に努めております。

また、グローバルな潮流、社会構造の変化、企業経営に関するステークホルダーの皆さまの意識変化などを広く見据えながら、引き続き、コーポレートガバナンスの継続的な見直し・強化に取り組み、経営の健全性・透明性・効率性を高めてまいりたいと思います。

「ESG Report 2019」は、持続可能な社会の実現に向けて、当社グループの企業価値をステークホルダーの皆さまにしっかりとご評価いただくために、当社グループのESGに関する方針や取り組み等について報告するものです。

本レポートによって当社グループへのご理解を深めていただくとともに、今後とも変わらぬご支援、また忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

GROUP STATEMENT
<ul style="list-style-type: none"> 都市に豊かさと潤いを
GROUP VISION
<ul style="list-style-type: none"> 「」マークの理念 共生・共存、多様な価値の連繋、持続可能な社会の実現 進化と価値創造 成長性と収益性に富んだ三井不動産グループ
GROUP MISSION
<ul style="list-style-type: none"> ビジネスと暮らしに関するソリューションとサービスの提供 グローバルな視野で顧客のパートナーへ 企業価値の向上 個の力を高め結集してグループのカへ

1999年6月制定、2018年4月改訂

2025 VISION
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 街づくりを通して、 持続可能な社会の構築を実現 ▶ テクノロジーを活用し、 不動産業そのものをイノベーション ▶ グローバルカンパニーへの進化

<p>E Environment 環境</p>	<p>S Society 社会</p>	<p>G Governance ガバナンス</p>
<p>▶ 重点的に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 街づくりを通じた超スマート社会の実現 多様な人材が活躍できる社会の実現 健やか・安全・安心な暮らしの実現 オープンイノベーションによる新産業の創造 環境負荷の低減とエネルギーの創出 コンプライアンス・ガバナンスの継続的な向上 		



Society 5.0 で実現する社会

- ・IoT ですべての人とモノがつながり、新たな価値が生まれる社会
- ・イノベーションにより、さまざまなニーズに対応できる社会
- ・AI により、必要な情報が必要な時に提供される社会
- ・ロボットや自動走行車等の技術で、人の可能性がひろがる社会



SDGs

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2016年から2030年までの持続可能な世界を実現するための開発目標



「重点的に取り組む目標」と「ESG課題」「SDGs」との関連

持続可能な社会の実現に向けて、三井不動産グループが重点的に取り組む目標は、主要なESG課題の解決と、SDGsの17目標の達成につながるものと考えています。重点的に取り組む目標と、ESG課題、およびSDGsとの関連については、下表の通りです。

三井不動産グループが重点的に取り組む目標		街づくりを通じた超スマート社会の実現	多様な人材が活躍できる社会の実現	健やか・安全・安心な暮らしの実現	オープンイノベーションによる新産業の創造	環境負荷の低減とエネルギーの創出	コンプライアンス・ガバナンスの継続的な向上
主要なESG課題							
E	水使用	●		●	●	●	
	環境汚染・資源	●		●	●	●	
	気候変動	●		●	●	●	
	生物多様性			●		●	
	環境サプライチェーン	●		●	●	●	
S	健康と安全	●	●	●	●		●
	労働基準・労働慣行		●	●			●
	人権とコミュニティ	●	●	●	●		●
	社会サプライチェーン	●	●	●	●		●
G	リスクマネジメント		●				●
	腐敗防止		●				●
	コーポレート・ガバナンス		●				●
SDGsの17目標							
1	貧困をなくそう	●	●	●			
2	飢餓をゼロに	●		●			
3	すべての人に健康と福祉を	●	●	●			
4	質の高い教育をみんなに	●	●	●			
5	ジェンダー平等を実現しよう	●	●				●
6	安全な水とトイレを世界中に	●		●		●	
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	●		●	●	●	
8	働きがいも経済成長も	●	●		●		
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	●	●		●		
10	人や国の不平等をなくそう	●	●	●			●
11	住み続けられるまちづくりを	●	●	●	●	●	●
12	つくる責任 つかう責任	●				●	
13	気候変動に具体的な対策を	●		●		●	

	三井不動産グループが 重点的に取り組む目標	街づくりを通じた 超スマート社会の 実現	多様な人材が活躍 できる社会の実現	健やか・安全・安 心なくらしの実現	オープンイノベ ーションによる新産 業の創造	環境負荷の低減と エネルギーの創出	コンプライア ンス・ガバナンスの 継続的な向上
14	海の豊かさを守ろう			●		●	
15	陸の豊かさを守ろう			●		●	
16	平和と公正をすべての人に		●	●			●
17	パートナーシップで 目標を達成しよう		●	●	●		

[個人情報保護方針](#)

[特定個人情報基本方針](#)

[個人情報の取り扱いについて](#)

[Cookie（クッキー）およびアクセスログについて](#)

[サイトのご利用上の注意](#)

© 2020 Mitsui Fudosan Co., Ltd.